

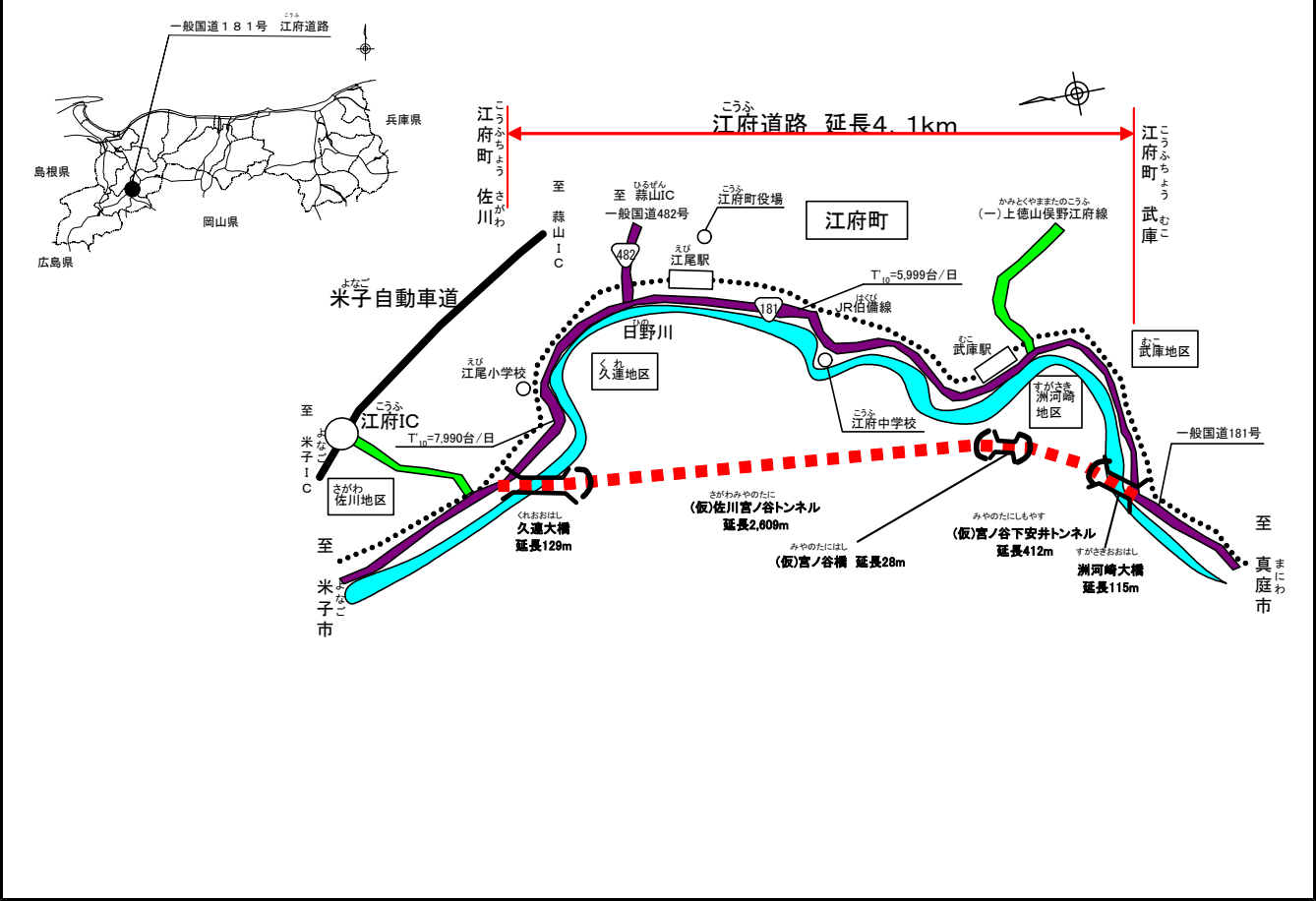
再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

事業名	地域高規格道路 江府三次道路 一般国道181号 江府道路	事業区分	一般国道	事業主体	鳥取県
起終点	自：鳥取県日野郡江府町佐川 至：鳥取県日野郡江府町武庫			延長	4.1 km
事業概要					
<p>一般国道181号江府道路は、鳥取西部地方生活圏と広島県備北地方生活圏を相互に連絡し、中国横断自動車道岡山米子線や中国縦貫自動車道と一体となって循環型ネットワークを形成する地域高規格道路「江府三次道路」の一部を構成し、現道の線形不良区間、事故多発地点、事前通行規制区間の迂回を目的とする延長4.1 kmの事業である。</p>					
H17年度事業化		都市計画決定なし		H21年度用地着手	
H22年度工事着手					
全体事業費		約119億円	事業進捗率	約19%	供用済延長
					— km
計画交通量		7,900台/日			
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益	
	(事業全体) 1.3	(残事業)/(事業全体) 78/101億円		(残事業)/(事業全体) 132/132億円	
	(残事業) 1.7	事業費：75/98億円 維持管理費：3.0/3.0億円		走行時間短縮便益：91/91億円 走行経費減少便益：31/31億円 交通事故減少便益：9.6/9.6億円	
基準年：平成27年					
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.2~1.4(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.5~1.9(交通量±10%) 事業費：B/C=1.2~1.4(事業費±10%) 事業費：B/C=1.6~1.9(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.3~1.4(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.6~1.8(事業期間±20%)					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・通過交通と域内交通の分離を図り、線形不良区間と事故多発区間の解消を図る。 ・現道の異常気象時事前通行規制区間を迂回することにより、幹線道路としての信頼性が向上する。 ・鳥取県日野郡地域と広島県備北地域の広域的な連携強化に寄与する。 					
関係する地方公共団体等の意見					
鳥取県日野町、広島県庄原市等2市3町の首長、議会議長・副議長から構成される「地域高規格道路江府三次道路建設促進期成会」より、早期整備の要望を受けている。					
事業評価監視委員会の意見					
地域高規格道路としての効用はもとより、現道の踏切対策や、線形不良区間に起因する交通事故や渋滞の解消にも一定の効果があること、及び高齢化・過疎化の振興地域の定住環境整備（安全・安心）にも資することから、継続が妥当と判断した。 鳥取県知事：上記の鳥取県公共事業評価委員会を踏まえ、「事業継続が妥当」と判断した。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
特になし。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率約97%、事業進捗率約19%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
引き続き、早期供用に向けて事業を進める。					
施設の構造や工法の変更等					
発生土を現場内流用する等、コストの縮減を図っている。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。